

75 野田市制施行75周年記念事業

# 野田市文化財マップ

文化財マップで歴史探検!!  
文化財カードQRラリー  
令和8年1月スタート

※カードがなくなり次第終了  
文化財を訪れろみひつみの言葉をつみつけて、  
野田市の文化財カードをゲットしよう!

県指定無形民俗文化財  
野田のぼんばり獅子舞

**1 関宿城跡** 関

長禄元年(1457)、築田氏が築城したとされ、本丸の北西隅に御三階櫓と呼ばれる天守を持つ城であった。河川改修で約3分の2が堤防の下となったが、現在は本丸跡に石碑と説明板が建てられている。

野田市関宿町 230-1  
まめバス「関宿城博物館」徒歩約 5分

**2 千葉県立関宿城博物館**  
(利根川中下流域の川船及び関連用具) 関 民

「河川とそれにかかわる産業」をテーマに河川改修や水運、流域の生活や産業など河川の歴史を紹介。また、関宿城や関宿藩に関する資料も展示している。国登録有形民俗文化財に指定された「利根川中下流域の川船及び関連用具」に関する資料(非公開)110点も所蔵。

野田市関宿三軒家 143-4  
まめバス「関宿城博物館」下車

**6 関宿台町の天王祭礼** 関 民 神

毎年7月中旬に行われる八坂祭礼。関宿藩主の牧野氏の奥方の実家から神輿が奉納されたのがはじまりとされ、神輿を大きく横に揺らす「もみかた」が特徴。平成23年に市の無形民俗文化財に指定されている。

野田市関宿台町 2710  
関宿台町香取神社内  
まめバス「納谷」徒歩約 2分

**8 (松平)康元の墓(宗英寺)** 関 神

宗英寺は慶長元年(1596)初代関宿藩主松平康元により創建された。境内には康元が幕末の関宿藩士・船橋随庵の墓、第4代古河公方足利晴氏の墓と伝わる五輪塔などがある。

野田市関宿台町 57  
宗英寺  
まめバス「関宿中入口」徒歩約 3分

**10 鈴木貫太郎記念館**  
(鈴木貫太郎旧宅跡) 他

鈴木貫太郎記念館は、終戦時の内閣総理大臣として日本を終戦に導いた後、郷里の関宿に戻り、昭和23年永眠した鈴木貫太郎の功績を紹介するため昭和38年に開館した。旧宅敷地内には、門扉や井戸などが残されている。

野田市関宿町 1273  
まめバス「関宿台町」徒歩約 2分  
※現在林道中ですが、火水釜土日および年末年始を除く拝観対応可です。

**12 木造伝鸞聖人坐像**  
木造阿弥陀如来坐像(常敬寺) 美 神

中戸の常敬寺には、「木造伝鸞聖人坐像」(写真上)と「木造阿弥陀如来坐像」(写真下)が安置されており、作風や製作技法の特徴などから2像とも鎌倉時代後期から末期の作と推定され、千葉県有形文化財に指定されている。

※阿弥陀如来像は11月に特別拝観

野田市中戸 379  
まめバス「興詩館」徒歩約 10分

**13 関宿城埋門** 関 建

関宿城の南側にあった門の一つとされ、明治8年までに廃城令によって当地に移築されたもの。鬼瓦には江戸時代中期から明治維新まで藩主を務めた久世家の家紋である「久世鷹の羽」の文様が見られる。

野田市東高野 94  
まめバス「東高野」徒歩約 3分

**19 武者土雛子** 民

始まりは弘化年間(1844~1847)以前とされ、雛子は江戸深川雛子の流れを汲むといわれている。木間ヶ瀬大杉神社の夏の例祭で奉納され、昭和55年野田市(旧関宿町)無形民俗文化財に指定された。

野田市木間ヶ瀬 349  
大杉神社  
まめバス「下総利根大橋入口」徒歩約 2分

**21 松ノ木天満宮** 神

元は、木間ヶ瀬村で大きな農家だった岩本家の邸内神であるが、寛文3年(1663)に社殿を、元文3年(1738)に拝殿を建立し、鎮守とした。平将門手植えの桜の一つがあったとも伝えられている。

野田市木間ヶ瀬 3506  
まめバス「木間ヶ瀬小前」徒歩約 6分

**25 刺繍釈迦涅槃図(清泰寺)** 美 神

寺の創建は明応8年(1499)。涅槃図は寛文5年(1665)作で釈迦の入滅光景が刺繍で描かれる。歴代先師で総継2577人の名と村名も刺繍され、当時の信仰の様子が伺える貴重な資料。千葉県有形文化財指定。毎年4月に公開される。

野田市東金野井 1192  
清泰寺  
まめバス「東金野井下」徒歩約 11分

関	関宿藩	醬	醤油醸造	遺	遺跡
民	民俗行事・資料	建	建造物	他	その他
美	美術工芸品	記	記念物	神	神社仏閣

**28 船形香取神社 御社撞御膳献上式** 民 神

毎年2月11日に行われるおびしや行事。船形15地区の当番組により執り行われ、神饌は20種以上の山野菜や魚を供える。「トワタシ」といわれる当番の引継ぎでは、神酒の拝飲に続き、謡曲が奉納される。

野田市船形 1919  
船形香取神社  
まめバス「船形多世代交流センター」約11分

**35 野田貝塚** 記 遺

縄文時代後晩期(約3800~3500年前)の馬蹄形貝塚。発掘調査では土器や石器、土偶等の土製品、貝殻から獣骨や魚骨等も多数出土している。奥東京湾地域における縄文時代の様子を知る上で貴重な遺跡。

野田市清水 551-1  
まめバス「野田貝塚」下車

**45 愛宕神社本殿** 建 神

創建は延長元年(923)と伝わる。社殿は文政7年(1824)再建。本殿は入母屋造の三間社権現造、屋根は銅瓦葺。彫刻は二代目石原常八の作。素木造で彫刻を多用する江戸後期社寺建築の特徴を備えるもの。

野田市野田 725-1  
まめバス「愛宕神社前」下車

**51 野田のつく舞** 民

7月中旬野田三町の夏祭り中日に演じられる民俗行事で雨乞の神事。先端に一斗樽を乗せた高さ14.5mの柱を建て「ジュウジロウサン」と呼ばれる白装束に雨蛙の面を被った演者が、柱や樽の上、柱から張った綱の上等で軽業を演じる。

野田市野田  
(つく舞納はキッコマン後車場)  
まめバス「仲町」徒歩約 3分

**57 須賀神社猿田彦神** 美 神

神社の創建は延享2年(1745)。出雲国より野田上町に分魂した須佐之男神をを下町に遷し再興。境内の猿田彦の丸彫像は、文政6年(1823)造立で、石工杉崎弥市の作。市内にある像の中でも彫刻、形容、大きさともに優れる。

野田市野田 31-1  
まめバス「キッコマン前」徒歩約 1分

**69 コウノトリ(こうのとりの里)** 記 遺

生物多様性の保全・回復の取り組みが後世に引き継がれるよう、生物多様性のシンボルとして、江川地区に飼育・観察施設「こうのとりの里」を設置し、平成24年から国の特別天然記念物コウノトリを飼育・公開している。

野田市三ツ郷 369  
まめバス「しらさぎ通り入口」徒歩約 7分

**29 岩名古墳** 遺

古墳時代末7世紀初頭の円墳。直径約20mで半地下式の切石横穴式石室をもつ。岩名古墳について、江戸時代の儒学者児玉南村の日記に、佃木で露わになった石室内に人骨や鉄刀があったことが記されている。

野田市岩名 326-1  
まめバス「堤台松山」約 5分

**37 旧花野井家住宅** 建

流山市前ヶ崎にあった花野井四郎氏の住宅を、昭和46年(1971)野田市が寄贈を受け移築。17世紀後半に建てられたと推定される。花野井家は、代々江戸時代幕府直轄の牧を管理する牧士を務めていた。

野田市清水 902  
まめバス「野田貝塚」徒歩約 4分

**野田市立中央小学校**  
(3年館・7年館・旧正門) 建

3年館・7年館は、鉄筋コンクリート造3階建の現役校舎。災害時の避難を想定した幅の広い階段、採光のため大きく作られた教室の窓など、先進的な教育思想が採り入れられた。校内の教育資料館は見学可。

野田市野田 611  
まめバス「上町」徒歩約 2分

**54 興風会館** 建

昭和4年に財団法人興風会により建設。大ホール、和室、社交室などを備え、社会教育や社会福祉事業など、完成当時から様々な事業に形文化財・近代化産業遺産。内部見学可。

野田市野田 250  
まめバス「キッコマン前」徒歩約 1分

**60 中根八幡前遺跡** 記 遺

昭和26年、野田市で初めて古墳時代初頭(4世紀頃)の堅穴式土器が発掘した。現在は史跡公園として公開。万葉集の葛布の地名に由来する、当時の文化団体協議会によって建立された歌碑もある。

野田市中根 140-53  
まめバス「桜木神社入口」徒歩約 4分

**75 山崎貝塚** 記 遺

縄文時代中期後半から晩期中ごろ(およそ4000年前から3000年前)の貝塚で土器や石器、住居跡等が見つかっている。南関東ではよくみられる馬蹄形の大規模貝塚。国史跡公園では珍しい地表に貝が露出した状態を見学できる。

野田市山崎貝塚町 26-4  
まめバス「山崎貝塚町公園」徒歩約 3分

**33 高梨氏庭園** 醬 建 記

上花輪村の名主で、醤油醸造家高梨兵左衛門家(高梨本家)の建造物、生活・醸造道具、古文書、年中行事等を保存公開する博物館。敷地内には副産物に尽力した歴代当主の顕彰碑が立つ。

野田市上花輪 507  
上花輪歴史館  
まめバス「新下町」約15分  
※住宅内部の見学は要予約・入館料必要、休館期間あり

**39 堤台子育延命地藏尊の間引き絵馬** 民 神

文久3年(1863)作。間引きを戒める文と産まれたばかりの子を手にかける産婦、地藏菩薩が子を天へ導く様子が描かれる。作者は小林愛山。絵馬の稀少さに加え当時の出産習俗を知る上でも貴重な資料。毎月24日公開。

野田市堤台 261  
堤台子育延命地藏尊  
まめバス「堤台八幡神社入口」徒歩約 10分

**49 野田市市民会館・郷土博物館** 醬 建 記

市民会館は醤油醸造家・茂木佐平治家の邸宅が野田醤油株式会社(現キッコマン株式会社)から市に寄贈されたもの。郷土博物館は昭和34年に開館した県内最初の登録博物館。特に醤油関係の資料が豊富である。

野田市野田 370-8  
まめバス「仲町」徒歩約 4分  
市民会館 博物館

**55 野田の醤油発祥地** 醬

室町時代後期に野田で初めて醤油醸造を行ったとされる飯田市郎兵衛の蔵があった場所。甲斐の武田氏に溜醤油を送ったとの伝承も残る。

野田市野田 688-10  
まめバス「上町」徒歩約 1分

**61 旭村誌の碑(目吹熊野神社)** 他 神

目吹城址の推定地でもある熊野神社には「旭村誌の碑」がある。この石碑には、目吹城の伝承、本多藩領時代、明治以降の尻藩管県や大区制度の変遷などについても伝えられており、碑文という形態でも異色の村誌といえる。

野田市目吹 1034  
まめバス「目吹」徒歩約 8分

令和8年1月 編集・発行  
野田市教育委員会 生涯学習課 文化財係

〒278-8550  
千葉県野田市鶴善7番地の1  
電話 04-7199-8595

**文化財見学にあたってのお願い**  
文化財を所有・管理をされている方は個人の方もおりますので、見学の際は迷惑にならないようお願いします。